

平成 22 年 7 月 28 日

遠野市長 本 田 敏 秋 様

遠野市進化まちづくり検証委員会  
委 員 長 山 田 晴 義

社団法人遠野市畜産振興公社遠野馬の里に関する緊急中間報告について

本委員会は、平成 22 年 2 月 10 日から、計 7 回の委員会を開催し、第三セクター等 10 団体の検証を行なってきた。

当初は、各団体の検証を終えた後、今年 11 月を目途に、一定の提言を行なう予定であった。

しかし、遠野馬の里の検証を進める過程で、その経営状況から早急に検討すべき課題が認められたため、急遽 6 月 1 日に現地踏査を実施した。

その現地踏査において、利用頭数の減少から、平成 22 年度中において競走馬部門が資金不足に陥る危険性が極めて高く、ひいては公社の存続問題にまで及ぶ可能性が危惧されたことから、緊急中間報告として次により提言することとした。

## 【提言内容】

### 1 競走馬部門

- (1) 競走馬育成・調教施設機能を維持し、施設の運営管理は完全に民間に委ねること。
- (2) 現在の施設利用団体に限定せず、多様な視点で具体的交渉に着手すること。
- (3) 民営化にあたり、必要最小限の施設整備等の支援策を検討すること。
- (4) 民営化が困難な場合でも、馬事振興に即した施設活用策を検討すること。

### 2 乗用馬・ホースパーク部門

- (1) 遠野馬の里の環境と技術を活かし、市の馬事文化にこだわったまちづくりに資することとし、これを見直しの柱とすること。

### 3 共通事項

- (1) 各部門の見直しにあたっては、馬事振興のための計画を策定し、その将来ビジョンを広く関係者や市民と共有すること。
- (2) 防疫体制の整備を含め、必要な組織体制の見直しを行うこと。